



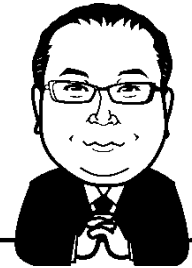
神奈中情報通信



(株)神奈中情報システム TEL:0463-22-8804 FAX:0463-22-8815

■■この「神奈中情報通信」は、私たちと何かのご縁があったかたにのみ、差し上げている通信誌です。■■

◆親を介護施設に入れる際に苦勞すること◆



こんにちは！お世話になっております。神奈中情報システムの大森です。今回は私が担当です。よろしくお願いいたします。

さて、実は最近、会社の同僚やご近所さん、友人や親戚などからよく相談されることがあります。何かと言いますと親の老人介護施設の入居についてです。この3年間で私の両親と妻の両親の4人が亡くなっています。そのうち私の両親と妻のお父さんは亡くなる前に施設に入っていて、そういった背景を知っている周りの同年代の人たちからよく相談があるのです。今回はそのあたりのことを私の父親のケースを例にして書かせていただきます。

まず、親が年老いてくると施設に入る前からいろんなことがあります。最初に起きるのが家事や買い物、食事がままならなくなること。そこで介護のヘルパーさんに頼まないといけません、世代的に外の人にやってもらうことを嫌がるので、話し合いから始まります。また、火の取り扱いについても心配になり、火事にでもなったら大変なので、私の実家の場合はガスから電気に全て変更しました。

施設に入る前の段階で特に大変だったのが運転免許の返納です。免許の返納は本当に拒まれました。「免許返納したら、わしはどうやって暮らしていったらええんじゃ」と言われ続け、ただ、家から車を出すときにぶついたりといったことが増えてきていて、途中からはずっと親子喧嘩です。最終的には私が言っても喧嘩になるだけだからと、妻に説得をお願いし、また、その頃にあの池袋の事故もあって、なんとか88歳で免許の返納になりました。



その後、体調面を含めいろいろと心配なことが増えてきて、施設を検討しなければならなくなります。まず地元のケアマネージャーさんに相談をして、どういう状況になったら何をしないといけないのかといったあたりを情報収集。（2枚目へ→）

(続き→) その上で、いよいよ施設に入れないといけない段階になるわけですが、ここからがまた大変です。母親は認知症がすごい進んで私の名前も忘れるくらいだったので説得の必要はなかったのですが、父親は違いました。

頭はまだ元気だった父親を納得させるのが一番の難関。年代的にも絶対に他人の世話になるのが嫌だと。自分の家族以外が作った食事は味が合わないから食べたくないとか、自分が育った家を自分が守らないといけないとか、もう大変です。

実家に帰って施設の話をする度に親子喧嘩。最終的に父親から「もう勝手にしろ！」と言われ、やっと施設の見学へと進みます。

介護施設と言ってもいろんな種類があります。保険のことや、家に帰れるとか帰れないとか、4~5つの施設を嫌そうな態度の父親といっしょに見学です。訪問して話を聞きます。どんな人たちが入居していて、1日をどのように過ごすのか、リハビリや入浴、食事やレクリエーション、それから、家族が訪問しやすいかどうかや費用のことなどいろいろ確認していき、最終的には父親に決めてもらいました。

施設に入ってから3ヶ月に1回は横浜から岡山に帰ることにしていました。施設の人やケアマネさんとは頻繁に電話連絡を取り、状況を確認していました。

振り返ってみると、年老いた親一人を支えていくだけでもけっこう大変で、家族だけでは到底無理です。なので専門職の方の力を借りるところは借り、家族がやらないといけないことは家族がやってとしていくことがとても大事だと思っています。

◆発行者コラム◆

夏に父親の初盆、秋になって妻の父親の三回忌がありました。岡山でそれぞれお坊さんに法要をしてもらいました。その際、お坊さんが「仏様の仲間入りをされたのでめでたいことです」と言うので、私が冗談半分で「次は私ですよね(笑)」と言うと完全にスルーされました。どうやらそのひと言はタブーだったようです(汗)。大森

■この通信がご不要の方は1枚目をそのままFAXしてくださいませようよろしくお願いいたします■

【発行元】

 株式会社
神奈中情報システム

バス事業者、旅客・貨物輸送事業者が求めるシステムの構築から運用までをサポート!

株式会社神奈中情報システム

〒254-0034 神奈川県平塚市宝町3番1号

平塚 MNビル11階

TEL: 0463-22-8804 FAX: 0463-22-8815

発行責任者: 神奈中情報システム



大森



米山